

IN PRAISE OF SKETCHES AND DRAWINGS

2020 9/5 SAT — 10/25 SUN

THE ART OF RYUSEI KISHIDA AND SHOHACHI KIMURA



木村荘八(第一いろは)1953年 小杉放菴記念日光美術館

木村荘八(1911年のスケッチ帳)
1911年 小杉放菴記念日光美術館



SHOHACHI KIMURA
RYUSEI KISHIDA



岸田劉生(六村娘之図)1919年 笠間日動美術館



〔主催〕公益財団法人小杉放菴記念日光美術館／日光市／日光市教育委員会／下野新聞社
〔協力〕うらわ美術館／日動美術財団
岸田劉生(寒山風麗子像)1922・23年 笠間日動美術館

そびょうらいさん

素描礼讚

岸田劉生と木村荘八

〔開館時間〕午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

〔休館日〕毎週月曜日(ただし9月21日は開館し、9月23日を休館)

〔入館料〕一般730(650)円、大学生510(460)円、高校生以下は無料

※()内は20名以上の団体割引料金

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方とその付き添いの方1名は無料

※第3日曜日「家庭の日」(9月20日、10月18日)は、大学生は無料

〒321-1431 栃木県日光市山内2388-3 Tel.0288-50-1200 Fax.0288-50-1201 www.khmoan.jp

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO



小杉放菴記念日光美術館

そびようらいさん

素描礼讃

岸田劉生と木村荘八

THE ART OF RYUSEI KISHIDA AND SHOHACHI KIMURA



前列右から劉生、荘八
(1923年撮影)

IN PRAISE OF SKETCHES AND DRAWINGS

素描を美術の骨子と評した岸田劉生(1891~1929)と、挿絵即ち素描かつ本格的絵画と説いた木村荘八(1893~1958)。習作や下絵として紹介されることの多い素描ですが、彼らの素描には独特の存在感と深い味わいがあり、完成作や彩色画では見ることのできない清新な魅力に満ちています。また、素描にはメモ等の書き込みが残されたものもあり、そこからは作家の思考や人柄も垣間見え、いっそう惹きつけられることでしょう。

岸田劉生は大正期を代表する洋画家であり、神秘的な写実画や愛娘、麗子を描いた作品で知られますが、1929年に38歳の若さで亡くなりました。早すぎた晩年には、墨画、日本画にもその才を発揮しています。一方の木村荘八は、劉生と活動をともした時期を経て、昭和期には洒落な挿絵で独自の地位を築くこととなります。

印象派の影響を受けた白馬会の画塾で出会った二人は、いち早くポスト印象派へ関心を向けると、情熱的な色彩による油彩画を描きましたが、後に素描の重要性を深く認識し、数々の秀作を世に出しました。また、異なる家庭環境ではあるものの、互いに著名な父を持ち、銀座、日本橋両国という商業の中心地で生まれ育った東京人でもあり、江戸文化の理解者でもありました。

本展は、笠間日動美術館、うらわ美術館、小杉放菴記念日光美術館が所蔵する3つのコレクションによる展覧会です。笠間日動美術館のコレクションは、「劉生の会」を社内に置く日動画廊が長年収集してきたもので、岸田劉生の油彩画、素描、書籍の装丁画習作、日本画など、貴重な作品を多く含んでいます。うらわ美術館のコレクションは、本に関する美術の収集・研究を主体としてきた同館ならではの、木村荘八の戦後の挿絵群です。小杉放菴記念日光美術館のコレクションは、春陽会事務局に残されていた荘八の遺品を中心とするもので、大正期以降の油彩画の小品や素描、《東京繁盛記》シリーズを踏む挿絵群からなります。

本展ではこれら3館の劉生・荘八コレクションから、素描・挿絵、単色画等約160点を構成、紹介していくことで、その魅力と二人の交流について、改めて見つめ直していきます。

岸田劉生 Ryusei Kishida

木村荘八 Shohachi Kimura



《第2回フウザン会展会場装飾画》
1913年 笠間日動美術館



《麗子之像》1918年 笠間日動美術館



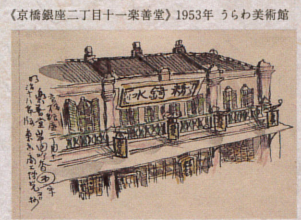
《「かちかち山」原案》1917年 笠間日動美術館



《猫図》1926年 笠間日動美術館



《昭和十六年三月スキヤ横》
1935年頃 うらわ美術館



《京橋銀座二丁目十一乗善堂》1953年 うらわ美術館



《裸婦》
1916年 小杉放菴記念日光美術館



《歌妓女度》1930年 小杉放菴記念日光美術館

EVENT

【会期中の催し物】
GALLERY TALK

担当学芸員によるギャラリー・トーク

- 日時／9月5日[土]／10月24日[土]
- 各時間／午前11時より(1時間程度)

※入館料のみでご参加いただけます。

MAP



ACCESS

電車=東武日光駅、JR日光駅から「世界遺産めぐりバス」もしくは奥細尾行、清滝行、中禅寺温泉行、湯元温泉行バスで5分、「神橋」停留所より徒歩3分。
車=日光宇都宮道路・日光インターから約2km。併設の神橋駐車場をご利用ください。美術館受付で駐車券を提示していただくと、1時間まで無料となります。

〒321-1431 栃木県日光市山内2388-3
Tel.0288-50-1200 Fax.0288-50-1201
www.khmoan.jp



小杉放菴記念日光美術館